

WWL

World Wide Learning

大阪教育大学附属高等学校

Senior High School Attached to Osaka Kyoiku University

拠 点 校

平野 校舎

Hirano
Senior High School

共同実施校

池田 校舎

Ikeda
Senior High School



世界とつながる知と感性が輝く

Society5.0に向かう生徒と教員のための「学びの共同体」の構築

データサイエンスに基づくイノベティブなグローバル人材育成システムの開発

文理融合による多様な探究

対立やジレンマの克服

新しい価値の創造

データを活用した問題解決

世界が求めるイノベティブなグローバル人材像

主体的な行動

多面的かつ偏見のない価値観

責任ある行動

自由な発想と柔軟な思考



国際性豊かで平和を希求する グローバルリーダー育成の実績 —— 池田

Ikeda Senior High School Attached to Osaka Kyoiku University

共同実施校 大阪教育大学附属高等学校 **池田 校舎**

1956(昭和31)年4月に創設されて以来、けやき並木に代表される緑豊かな池田キャンパスは、学びの場として多くの高校生を育んできました。60年を超える歴史の中で培われた自由・自主・自律を尊ぶ校風のもとで、生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、質の高い教育を行っています。また、教育大学の附属高校として、大学と連携しながら現代の教育課題の解決に資する研究を実践的に行っています。国際教育に力を入れており、2004(平成16)年にユネスコ・スクールに登録され、アジアや北欧の高校生とESDをテーマとした学びの交流を続けています。令和2年度より、文部科学省から、ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業・共同実施校に指定されています。

世界とつながる

知と感性が輝く

Hirano Senior High School Attached to Osaka Kyoiku University

拠点校 大阪教育大学附属高等学校 **平野 校舎**

1972(昭和47)年4月、大阪教育大学の3番目の附属高校として設立され、附属校ならではの教育と、1学年3クラスという小規模校だからこそ可能な取り組みを通じて、これまでに社会のリーダーとして活躍する5千人余の卒業生を輩出してきました。

平成26年5月には新校舎が完成、平成27年度から令和元年度には文部科学省からスーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定を受け、大阪教育大学や大阪大学、京都大学、関西学院大学等と連携しながら、「多面的に“いのち”を考えるグローバルリーダーの育成」に取り組みました。令和2年度より、文部科学省から、ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業・拠点校(以下WWL拠点校)に指定され、引き続き「イノベティブなグローバルリーダーの育成」を目指した教育プログラムを実施しています。

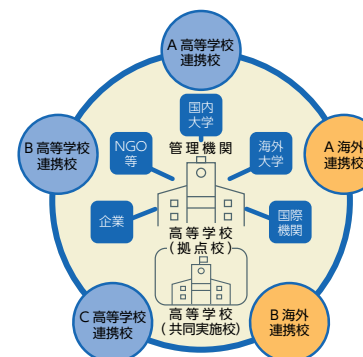
多面的に“いのち”を考える グローバルリーダー育成の実績 —— 平野



管理機関 **大阪教育大学** **Osaka Kyoiku University**

1874年(明治7年)5月に設置された教員伝習所を起源とし、140年を超える歴史と伝統を有する、我が国为数の教育大学です。大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内にある約67万m²のメインキャンパスと、大阪市のある天王寺キャンパスで、充実した教員養成教育と教養教育を展開し、多くの優れた人材を輩出しています。

WWL World Wide Learning とは



世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材を育成するため、これまでのスーパーグローバルハイスクール事業の取組の実績等を活用し、先進的なカリキュラムの研究開発・実践と、持続可能な取組とするための体制整備をしながら、高等学校が国内外の大学、企業、国際機関等と協働し、高校生国際会議の開催等、高度な学びの仕組み(ALネットワーク)の形成を目指しています。

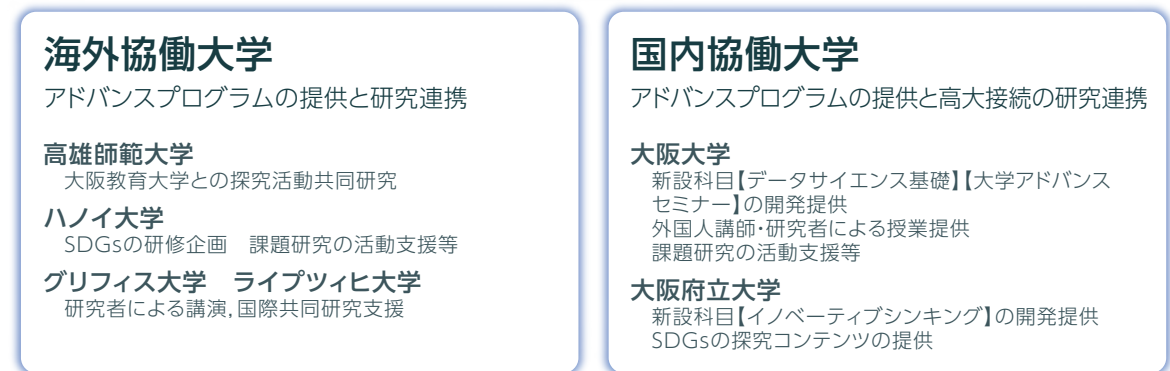
文理両方を学ぶ高等学校改革と、高大接続改革を推進する、リーディングプロジェクト

国内外の大学、企業、国際機関が協働し、より高度な学びを提供

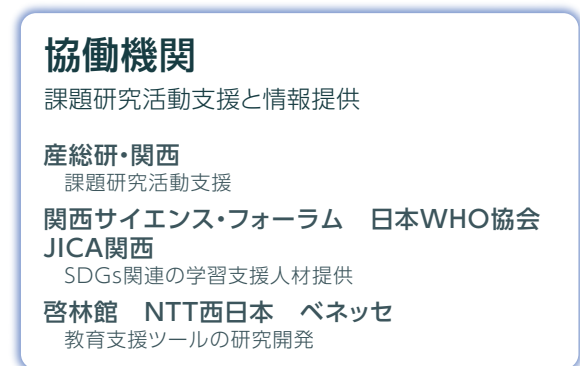
グローバルな社会課題研究のカリキュラム開発と、研究内容と連携した高校生国際会議の開催

IKEDA

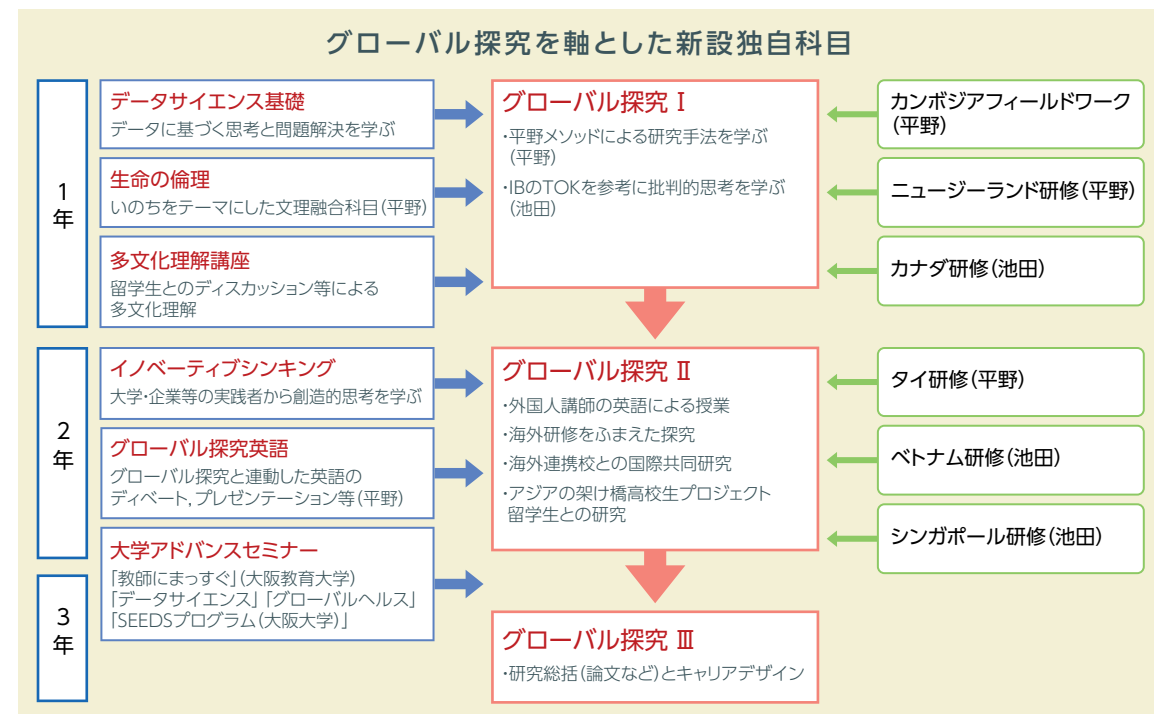
WWLでは国内外の大学や高等学校, 団体や企業などと、
学びのネットワークが構築されていきます。



高校生の学びを支える, 世界のトップリーダーと最先端の教育研究



ワールド・ワイドなネットワーク グローバル探究と独自の科目群



理論と体験の積み重ね, 深まる探究の学び

グローバル探究Ⅰ	1年全員 1単位	【共通】 研究の様々な手法やデータに基づく論理的な考えを学び, 研究活動に取り組む。	
		【平野校舎】 平野校舎が研究開発した, 探究活動の指導評価の方法<平野メソッド>を活用し, 共同研究に欠かせないチーム・ビルディングから課題発見, 論理的思考, 調査方法など, 一連の研究手法を学び, SDGsの達成を目指した研究活動に取り組む。	【池田校舎】 SDGsの知識を深めるとともに, IB (International Baccalaureate) のTOK (Theory of Knowledge) を参考とした批判的思考を学び, 探究活動に取り組む。またIBのCAS (Creativity, Action, Service) の内容やEE (Extended Essay) にも取り組む。
グローバル探究Ⅱ	2年全員 2単位	【共通】 グローバルな社会問題について考え, SDGsの達成につながる研究を行う。その際, 文理融合の課題解決の発想や, イノベティブな課題解決の発想が必要なことから, 複数教科の教員や大学・企業等の専門家, 外国人講師等の指導を得ながら探究活動を行う。希望者は海外連携校との国際共同研究や, 国内連携校との共同研究にも取り組む。	
		【平野校舎】 海外研修(タイ, カンボジア)を通して研究テーマの理解を深め, さらにデータ収集, 調査を行う。また, シグソー法などの学び合いや, 異学年交流などによって, 多面的な思考力を身に付ける。	【池田校舎】 国内フィールドワークや, 海外研修, 専門家との対話など, キーコンピテンシーを伸長する学習プログラムに取り組む。また研究の成果を, 一人ひとりが英語での報告書にまとめる。
グローバル探究Ⅲ	3年 1単位	【共通】 これまでの研究活動の取組をポートフォリオにまとめ, 研究成果を論文にまとめる。また, 自分のキャリアを設計し, 一人ひとりの特性に応じた発展的な研究に取り組む。	

グローバル探究を軸とした, 多様な学びの内容と方法が,
次代を創造する力を育みます。



HIRANO

【カンボジアフィールドワーク】

1・2年生がカンボジアを訪れ、現地の様々な場所で研修を行います。2020年度はCOVID-19の影響で渡航が叶いませんでしたが、現地の方々とオンラインで交流し、バーチャルツアーを実施しました。



安西 舞子〈平野 48期〉

1年生の夏に研修旅行でカンボジアを訪れました。現地ではゴミ山、女性支援施設などを訪れ、支援の在り方について学びました。カンボジアは近年目覚ましい発展を遂げている一方でゴミ山やジェンダー不平等などの問題を抱えており、このような社会問題を解決するために活動している日本人の姿は自分の将来について考える良い機会となりました。コロナ禍で海外研修に行けなくなった今はオンラインで現地の人と交流しています。彼らの笑顔に再訪したくなりました。

WWLのプログラムには、フィールドワーク、研修旅行など、教室を飛び出した、グローバルな学びの交流場面が数多くあります。またオンラインでの交流も進められています。

発信する学び

交流する学び

【海外の高校生と交流】

平野校舎選択科目【探究プラス】では、高雄師範大学附属高級中学の生徒と、COVID-19について熱心にオンラインディスカッションを行いました。池田校舎では、ユネスコスクールのつながりを生かし、韓国やリトアニアの高校生と交流をおこなっています。



福島 陽平〈平野 49期〉

海外の高校生との議論をすべて英語で司会進行するのはとても緊張しましたが、高校生と一緒に課題に取り組む大変貴重な経験になりました。テーマは高校生らしさを重視して設定しましたが、日本や台湾、そして世界のCOVID-19に関する問題について、自由な立場で意見交換や議論ができました。多角的な視点や知識が求められる中、来年度への課題や自らの未熟さも実感した、とても有意義な交流となりました。

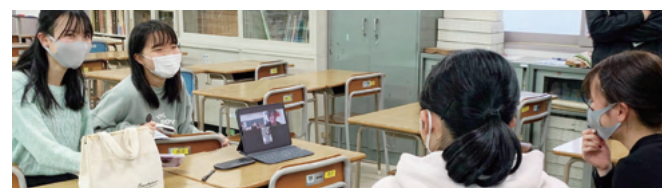


阪本 治人〈池田 64期〉

韓国ではたくさんの人の優しさに触れました。高校からの帰りにバスで僕が大きな荷物を持っていると、座っている人が荷物を持つと言ってくれ、老人には必ず誰かが席を譲っていました。日韓関係の悪さを心配していましたが、一人でいる時がないほど誰かが話しかけてくれました。これまで韓国をニュースで知ったイメージで考えていましたが、実際に訪ねたからこそその発見がたくさんありました。これからも様々な挑戦をしたいです。

【ランチタイム・チャット】

大阪教育大学などの留学生と、会話を通して、楽しみながら英語力を磨きます。



三輪 耀星
〈池田 64期〉

ランチタイムチャットでは、ネイティブスピーカーの先生方と英会話を楽しむことができ、貴重な経験となりました。私は主に高校生活や将来の進路について話しました。初めは自分の夢について話すことに少し戸惑いがあり、また英語力にも自信がなかったので、うまく話せませんでしたが、私の話に丁寧に向き合ってくれたおかげで自分の夢を英語で表現することができました。この活動を通して将来への視野が広がり、さらに英語学習への意欲が高まりました。



西村 遥菜〈平野 49期〉

昼休みの時間を利用し「ランチタイムチャット」に参加しています。そこでは生徒数人が、外国の方1人とzoomを通して英会話をします。様々な国の人に講師になっていただきましたが、同じ「英語」の話者でも国によって発音が少しずつ違うことがわかりました。授業ではALTの英語が聞き取れていても、実際にその方と話してみると難しいこともあります。相手にどう伝えたらよいかと自分で考えながら話すのが楽しいです。

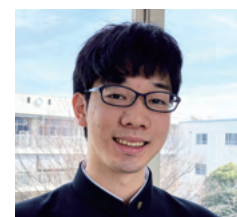
【全国高校生フォーラム】

課題研究で優れた成果を挙げたグループが、全国高校生フォーラムにて研究発表します。発表も発表後のディスカッションもすべて英語で行われます。



井崎 明日香
〈平野 49期〉

高校生フォーラムを通して、課題解決に向けて研究を行っている全国の高校生と問題を共有し、意見交換の機会を得られたことは、貴重な体験で様々な考え方を知ることにつながりました。また、日常生活における課題発見のきっかけにもなりました。そして、日本や世界が直面している現状の課題に、高校生が率先して取り組むことの大切さや、グローバル化が進む世界の中で、英語を用いて自分の考えを発信することの意義を感じました。



森山 広暉
〈平野 47期〉

世界津波の日2019
高校生サミットin北海道に参加して

世界44か国の高校生たちと災害救護に対する考えを英語のみで交換し、たくさんの議論を行う、大変濃厚な二日間だったと思います。言葉の壁に苦労することもありましたが、多様性を受け入れつつ、皆で答えのない問題に取り組んでいくそのプロセスは非常に刺激的でした。参加者の一人として、多くの方々がこのサミットに参加され、災害に対する意識を向上されると共に、国際交流の先駆けとなれることを心から願ってやみません。

【世界津波の日高校生サミット】

世界中から高校生があつまり、防災にかかわる研究発表とディスカッションを英語で行います。平野校舎・池田校舎からも参加してきました。



WWLプログラムの課題研究の成果は、スライドプレゼンテーション、ポスター発表など様々なかたちで発表されます。多くの生徒は、校内での発表を経て、全国的・国際的なセッションへと飛躍していきます。



文部科学省指定 ワールド・ワイド・ラーニング コンソーシアム構築支援事業

Society5.0に向かう生徒と教員のための「学びの共同体」の構築

データサイエンスに基づくイノベティブなグローバル人材育成システムの開発

管理機関 国立大学法人大阪教育大学

拠点校 大阪教育大学附属高等学校 平野校舎

共同実施校 大阪教育大学附属高等学校 池田校舎



大阪教育大学附属高等学校 平野校舎

〒547-0032 大阪市平野区流町2-1-24

TEL 06-6707-5800 / FAX 06-6709-1711

大阪教育大学附属高等学校 池田校舎

〒563-0026 大阪府池田市緑丘1-5-1

TEL 072-761-8473 / FAX 072-762-1076